

総務に関すること

令和4年度 組織と事務分掌

水産研究所
現在員 36名

所長 藤田 弘一

研究管理監 青木 秀夫

総務調整課	3名
-------	----

副参事兼課長 晝川 裕之
主幹兼課長代理 東山 弥生
主事 泊 ゆかり

- 1 所内の総務・予算・庶務・企画調整に関すること
- 2 庁舎、財産管理に関すること

企画・水産利用研究課	8名
------------	----

総括研究員兼課長 青木 秀夫
主査研究員兼課長代理 阿部 文彦
主幹兼船長 井上 勇人
機関長心得 久保 典敬
主任 田岡 明将
技師 平工 智一
技師 大野 恭我
技師 北村 勇人

- 1 研究企画・調整に関すること
- 2 産学官連携に関すること
- 3 水産物の付加価値向上の試験研究に関すること
- 4 調査船の運営・維持管理に関すること

資源管理・海洋研究課	4名
------------	----

主幹研究員兼課長 久野 正博
主幹研究員 藤原 正嗣
主査研究員兼課長代理 丸山 拓也
研究員 佐口 智之

- 1 漁況・海況の試験研究に関すること
- 2 資源評価及び資源管理の試験研究に関すること

沿岸資源増殖研究課	4名
-----------	----

主幹研究員兼課長 田中 真二
主査研究員兼課長代理 永田 健
研究員 田中 翔稀
主幹 大田 幹司

- 1 定着性沿岸資源の種苗生産、資源増大技術に関すること
- 2 海藻類の増養殖技術の試験研究に関すること

養殖・環境研究課	5名
----------	----

主幹研究員兼課長 奥村 宏征
主査研究員兼課長代理 渥美 貴史
研究員 今井 絵美
研究員 出口 竣悟
主査 西川 次寿

- 1 魚介類の育種・養殖技術・病害対策に関すること
- 2 赤潮及び貝毒に係る試験研究に関すること
- 3 漁場環境の保全再生の試験研究に関すること

鈴鹿水産研究室	6名
---------	----

総括研究員兼室長 小林 智彦
主幹研究員兼課長 舘 洋
主幹研究員兼課長代理 羽生 和弘
主査研究員 岩出 将英
主査研究員 高崎 有美子
主幹 北川 強司

- 1 伊勢湾の生態系・環境保全再生に関すること
- 2 伊勢湾の資源管理・資源増大技術の試験研究に関すること
- 3 のり養殖技術の試験研究に関すること
- 4 内水面の生態系・環境保全再生の試験研究に関すること

尾鷲水産研究室	5名
---------	----

総括研究員兼室長 井上 美佐
主幹研究員兼課長 宮本 敦史
研究員 西村 溪
研究員 宮崎 優太
技師 盛葉 健人

- 1 魚類の種苗生産・育種・養殖技術の試験研究に関すること
- 2 魚類の病害対策の試験研究に関すること

県単試験研究費

R4当初予算要求

事業名	事業概要	担当	実施年度
●水産関係県単経常試験研究費			
① 水産物付加価値向上研究事業	県産水産物の生物特性や季節変動を科学的に把握して高付加価値化の取り組みを支援する。また、未利用・低利用資源の新たな活用方法を探る。	企画・水産利用研究課	H31～R5
② イセエビ栽培漁業実証化事業	イセエビの行動生態に基づく漁獲パターンを解明するため、漁獲量と水温、月齢、波高等の環境条件との関係を解析する。また、資源量の推定のため、プエルルス及び稚エビの来遊量調査を行う。	沿岸資源増殖研究課	R2～4
③ 英虞湾漁場環境調査	英虞湾および的矢湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、アコヤ養殖環境情報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する【一部志摩市補助】。	養殖・環境研究課	H30～R4
④ (新規)内水面漁場環境調査事業	内水面漁業において最も重要な魚種であるアユを対象に、餌料環境調査や、冷水病対策およびカワウによる食害防止対策の情報収集と普及に取り組む。	鈴鹿水産研究室	R4～R8
⑤ 三重県産養殖魚の産地間競争力強化技術開発	養殖魚の身質向上や飼料費削減、養殖魚種の多様化など、県産養殖魚の産地間競争力の強化につながる技術の開発と普及に取り組む。	尾鷲水産研究室	R2～4

競争的資金等外部資金

事業名	事業概要	担当	実施年度
●水産業技術高度化研究開発推進事業費			
① 研究基盤向上	外部評価委員による研究評価委員会開催、調査設備等修繕、試薬廃棄などを実施する。	総務調整課/企画・水産利用研究課	H17～
② (新規)志摩市沿岸藻場広域調査事業	志摩市沿岸における、藻場の分布や消失域を把握するとともに、藻場の減少による沿岸漁業への影響を調査することにより、藻場減少への対策や再生などの地域活動の支援につなげる【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	R4
③ 青のり養殖に関する技術開発事業	志摩市の重要産業であるヒトエグサの養殖について、安定生産につながる養殖技術の高度化に係る試験研究を行う【志摩市委託】。	沿岸資源増殖研究課	H29～R4
④ (新規)環境変動に対応し「海の技術そして社会を変える」水産DX研究開発事業	高水温化等の環境変動に適応した持続的、効率的な養殖業を実現するため、IT技術の活用や高温耐性品種の導入等に係る技術の開発を行う【科学技術振興機構(JST)事業】。	沿岸資源増殖研究課/養殖・環境研究課	R4～R5
⑤ 鳥羽海域カキ養殖漁場環境調査事業	鳥羽海域のカキ養殖漁場において、漁場環境をモニタリングするとともに、得られた環境情報を養殖業者等に提供することにより、漁業被害の未然防止や軽減を図る【鳥羽市委託】。	養殖・環境研究課	R3～R5
⑥ 環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業	低栄養状態でも色落ちにくいノリ品種の実用化を進めるための室内培養試験および養殖試験と食害対策試験を実施する【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	R1～R5
⑦ 新規栽培対象種技術開発事業	伊勢湾の重要な水産資源であるハマグリについて、人工種苗の放流効果を高めるとともに、母貝の保護・増殖技術を開発することでハマグリ資源の維持・回復を目指す【水産庁委託】。	鈴鹿水産研究室	R1～R5

競争的資金等外部資金(続き)

<p>⑧ マハタ優良種苗生産研究事業</p>	<p>マハタの優良種苗生産のため、形態異常の原因となる未開鰓個体の早期除去方法の開発、中間育成以降における形態異常の発生要因の解明、耐病性マハタの育種技術の開発に取り組む【水産振興事業団委託】。</p>	<p>尾鷲水産研究室</p>	<p>R3~R4</p>
<p>●資源評価調査事業費</p>			
<p>① 資源評価調査事業</p>	<p>漁獲統計資料の解析、生物測定、調査船調査の結果により、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・スルメイカ・トラフグ等の資源量を評価し、漁獲可能量(漁獲割当量)算出の基礎資料を収集する【水産庁委託】。</p>	<p>資源管理・海洋研究課 鈴鹿水産研究室</p>	<p>H12~</p>
<p>●日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費</p>			
<p>① 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業</p>	<p>マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類は国際的な資源管理体制の確立が必要となっているため、国を中心とした全国組織のもと、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う【水産庁委託】。</p>	<p>資源管理・海洋研究課</p>	<p>H13~</p>
<p>●熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費</p>			
<p>① 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究</p>	<p>熊野灘沿岸域における有害プランクトンの監視および長期的変遷と発生環境を把握するとともに、有害赤潮の形成メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する【水産庁委託】。</p>	<p>養殖・環境研究課</p>	<p>H30~R4</p>

管理費等

事業名	事業概要	担当	実施年度
<p>●水産業試験研究管理費 ① 管理費</p>	<p>水産研究所の施設の管理運営を行う。</p>	<p>総務調整課</p>	

水産振興課執行委任

事業名	事業概要	担当	実施年度
<p>●消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費</p> <p>① 養殖衛生管理体制の整備</p> <p>② 水産物の安全の確保</p>	<p>飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。</p> <p>貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。また、ヒラメグドアを含めた養殖水産動物および放流用種苗の有害微生物による汚染の検査とまん延防止対策指導を行う。</p>	<p>養殖・環境研究課/鈴鹿/尾鷲水産研究室</p> <p>養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室</p>	<p>H15～</p> <p>S55～</p>
<p>●スマート水産業実証体制構築事業</p> <p>① スマート水産業実証体制構築事業</p>	<p>新技術の導入による作業の自動化・効率化など、生産性や所得の向上、働き方改革につながるスマート水産業の実現に向け、三重県を実証フィールドとして、産学官で課題を共有し、知見や技術をすり合わせて取り組む体制づくりを進める。</p>	<p>企画・水産利用研究課</p>	<p>R2～R4</p>
<p>●気候変動に適応する強靱な新養殖事業</p> <p>① (新規)気候変動に適応する強靱な新養殖事業</p>	<p>気候変動に伴う高水温化によるアコヤガイ、カキ、マダイ、マハタのへい死、ノリの生育不良等の養殖被害を防止し、高水温化に適応した新しい養殖業を確立することで、安定的な水産物の生産・供給を可能にし、効率的かつ持続的に発展できる強靱な養殖業を実現する。</p>	<p>養殖・環境研究課/尾鷲水産研究室</p>	<p>R4～R6</p>
<p>●環境調和型真珠養殖システム構築事業</p> <p>① 環境調和型真珠養殖システム構築事業</p>	<p>持続的かつ環境に配慮した真珠養殖システムを構築し、サステナブル、エシカルといった県産真珠のブランドイメージの向上を図る。</p>	<p>養殖・環境研究課</p>	<p>R2～R4</p>
<p>●漁場生産力向上対策事業</p> <p>① (新規)漁場生産力向上対策事業</p>	<p>流域下水処理場の栄養塩類管理運転による伊勢湾の水質や生物生産に及ぼす影響評価や効果を検証する。また、持続的な生物生産に必要な対応策を明確にし、漁業生産力向上のための施策を実施できるようシミュレーション解析等を行う。</p>	<p>鈴鹿水産研究室</p>	<p>R4～R8</p>
<p>●環境変化に対応するノリ品種の作出・普及事業</p> <p>① (新規)環境変化に対応するノリ品種の作出・普及事業</p>	<p>三重県水産研究所が保有するノリ保存株を用いた選抜育種による高成長品種の作出に取り組み、養殖漁場における実証試験を実施し、高成長品種の普及を図る。</p>	<p>鈴鹿水産研究室</p>	<p>R4～R8</p>
<p>●藻類養殖の適正化対策事業</p> <p>① (新規)藻類養殖の適正化対策事業</p>	<p>漁場別の食害生物の把握と防除方法の検討する。県漁連や漁協が養殖業者と連携して実施する食害の防除活動に対しての支援、共同加工体制の導入に向けた生ノリ保存・加工技術の開発を行う。</p>	<p>鈴鹿水産研究室</p>	<p>R4～R8</p>
<p>●次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業</p> <p>① 次世代型海藻養殖による豊かな伊勢湾再生事業</p>	<p>伊勢湾での持続的な黒・青ノリ養殖技術開発・技術支援を行うとともに、ICTブイ、人工衛星、海洋観測等で得られた伊勢湾の黒・青ノリ漁場の海況情報を、生産者へ実用性の高い形式で配信・共有できる新たな藻類養殖支援のための海況情報配信プラットフォームの整備を目指す。</p>	<p>沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室</p>	<p>R2～R4</p>

水産振興課執行委任(続き)

<p>●法人化に向けた魚類養殖業の構造改革促進事業費</p> <p>① 法人化に向けた魚類養殖業の構造改革促進事業</p>	<p>飼料の低コスト化等、新技術による生産性の向上や、新魚種等によるリスクヘッジに向けた新しい魚類養殖の導入に取り組むとともに、魚類養殖法人化モデルの推進に取り組む。</p>	<p>尾鷲水産研究室</p>	<p>R3～R5</p>
---	---	----------------	--------------

水産資源管理課執行委任

事業名	事業概要	担当	実施年度
<p>●資源管理体制・機能強化総合対策事業</p> <p>① 三重県沿岸資源動向基礎調査事業</p>	<p>本県の沿岸水産資源について、漁獲実態や生態的特性を調査し、資源評価を行うとともに、各地区で取り組まれている資源管理計画の効果を検証する。【資源管理協議会からの執行委任】</p>	<p>資源管理・海洋研究課/沿岸資源増殖研究課/鈴鹿水産研究室</p>	<p>H27～</p>
<p>●海女による豊かな海づくり事業</p> <p>① 海女による豊かな海づくり事業</p>	<p>サステナブルな海女漁業を次世代に継承するため、海女自身が海の環境変化に対応した藻場の効果的な管理やアワビの増養殖、漁獲物の魅力向上などに取り組む「海女による豊かな海づくり」を推進する。</p>	<p>沿岸資源増殖研究課</p>	<p>R2～R4</p>
<p>●イカナゴ等重要資源調査・種苗生産事業</p> <p>① (新規)イカナゴ等重要資源調査・種苗生産事業</p>	<p>イカナゴ資源の回復に資するため、その原因究明に向けて集中的な夏眠魚調査や底層水温の動向、捕食魚の可能性のある魚の胃内容物の調査を行う。 他海域のイカナゴを導入して養成し、自然産卵および人工授精による安定した採卵技術を開発するとともに、得られた受精卵での種苗生産試験を実施する。</p>	<p>鈴鹿水産研究室/尾鷲水産研究室</p>	<p>R4～R8</p>

水産基盤整備課執行委任

事業名	事業概要	担当	実施年度
<p>●県単沿岸漁場整備事業費</p> <p>① 熊野灘浮魚礁技術活用促進調査</p>	<p>浮魚礁の効果的な運用・活用方法の検討に資するため、浮魚礁設置海域周辺の流動環境、魚群の蟻集状況等を調査する。</p>	<p>資源管理・海洋研究課</p>	<p>H24～</p>
<p>●錦工区イセエビ増殖礁効果把握調査</p>	<p>イセエビ増殖礁に求められる稚エビの加入機能及び増殖機能の条件を調査する。</p>	<p>沿岸資源増殖研究課</p>	<p>R2～R4</p>
<p>●海女漁業等環境基盤整備事業</p> <p>① (新規)人工漁礁を効率的に活用する磯根資源増殖技術の開発</p> <p>② 藻場モニタリング事業</p>	<p>人工漁礁におけるアワビ類の種苗放流効果を向上させる技術を確立し、技術普及を行う。</p> <p>定期的な藻場のモニタリング調査により、藻場の増減の状況を把握するとともに、環境要因等との関係を解析し、藻場造成のための基礎的知見を得る。</p>	<p>沿岸資源増殖研究課</p>	<p>R4～R6 R3～R5</p>
<p>●伊勢湾アサリ漁業環境基盤整備事業</p> <p>① 伊勢湾アサリ漁業環境基盤整備事業</p>	<p>移殖用アサリ稚貝を採取する海域におけるアサリ稚貝の発生状況を調査するとともに、アサリに悪影響を及ぼすカイヤドリウミグモの生息状況を調査する。</p>	<p>鈴鹿水産研究室</p>	<p>H31～</p>